

平成28年度（第26年度）事業報告書

（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）

I. 庶務の概要

1. 庶務事項

(1) 会議の開催状況

年 月 日	名 称	主な決議・協議内容
H28. 5.10	第146回 運営委員会	助成金の審査15件
5.23	監事監査	
6. 8	第23回 定例理事会	<ul style="list-style-type: none">・平成27年度事業報告書・決算諸表・資産の管理方法・平成28年度補正予算・第9回定時評議員会招集
6. 9	第1回 農地中間管理事業評価委員会	<ul style="list-style-type: none">・平成27年度農地中間管理事業の事業報告・平成27年度農地中間管理事業の評価・平成28年度農地中間管理事業の実施計画
6.20	第9回 定時評議員会	<ul style="list-style-type: none">・平成27年度決算諸表・評議員の選任・役員を選任
6.21	第24回 臨時理事会 (決議の省略による)	<ul style="list-style-type: none">・理事長、副理事長選任
7.28	第147回 運営委員会	助成金の審査 12件

年 月 日	名 称	主な決議・協議内容
H 2 8 . 9 . 2	第 1 回 農地集積推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度農地中間管理事業の進捗状況 平成29年度農地中間管理事業の活動方針策定に向けての意見交換
1 1 . 7	第148回 運営委員会 (書面審査)	助成金の審査 3件
1 1 . 9	第25回 臨時理事会 (決議の省略による)	平成28年度補正予算の承認
1 2 . 2 1	第26回 臨時理事会 (決議の省略による)	<ul style="list-style-type: none"> 職員就業規定の改定
H 2 9 . 1 . 2 3	第 2 回 農地集積推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度農地中間管理事業の取組状況及び実績見込み 平成29年度農地中間管理事業の取組 平成29年度予算の概要
1 . 2 6	第149回 運営委員会 (書面審査)	助成金の審査 2件
2 . 2 4	第 2 回 農地中間管理事業 評価委員会	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度農地中間管理事業の取組状況及び実績見込み 平成29年度農地中間管理事業の取組 農地中間管理事業の推進策等
3 . 1	第27回 定例理事会	<ul style="list-style-type: none"> 規程、要領等の制定・改定・廃止 平成29年度農地中間管理事業活動方針 平成29年度事業計画、収支予算並びに資金調達、設備投資の見込み

年 月 日	名 称	主な決議・協議内容
3.14	第10回臨時評議員会 (決議の省略による)	<ul style="list-style-type: none"> ・資産の管理方法 ・平成29年度常勤役員の報酬額・支給方法の決定 ・第10回臨時評議員会の招集
3.31	第28回 臨時理事会 (決議の省略による)	<ul style="list-style-type: none"> ・理事の選任 ・事務局長の選任

(2) 農業振興功労者表彰事業

年 月 日	事 項
H28. 9.28	愛知農業賞審査委員会
12.19	愛知農業賞表彰式

2. 登記に関する事項 (名古屋法務局)

年 月 日	登 記 事 項
H28. 7.11	評議員の就任及び退任登記 <ul style="list-style-type: none"> ・就任登記: 稲垣隆司、加藤正人、吉田濱一、小池くるみ、酒井映子、荒山裕行、小川嘉吉 ・退任登記: 大羽和子、渡会健治郎 理事・監事の就任登記、代表理事の就任登記
H29. 3.31	評議員加藤正人の辞任登記 理事山田博嗣の就任登記

3. 県庁への報告等に関する事項 (愛知県)

(1) 公益法人報告関係

年 月 日	報 告 等 事 項
H28. 6.27	事業報告等に係る提出書 (電子申請)
H29. 3.24	事業計画書等に係る提出書 (電子申請)

4. 役員等に関する事項

(1) 評議員（7名）

平成29年3月31日

氏名	現職名
稲垣隆司	岐阜薬科大学 学長
加藤正人	愛知県農林水産部 部長
吉田濱一	愛知県農業協同組合中央会 会長
小池くるみ	日本チェーンストア協会 中部支部参与
酒井映子	愛知学院大学心身科学部 健康栄養学科 教授
荒山裕行	京都産業大学経済学部 客員教授
小川嘉吉	愛知県農業経営士協会 会長

(2) 役員（理事 7名、監事 2名）

平成29年3月31日

役職名	氏名	現職名
理事長	可知祐一郎	学識経験者
副理事長	井上庄吾	愛知県農業協同組合中央会 専務理事
理事	上原正子	愛知みずほ大学 短期大学部教授
理事	鈴木才将	愛知県農林水産部 技監
理事	向井清史	名古屋市立大学大学院 経済研究科 特任教授
理事	吉田豊	東海地域生物系先端技術研究会 副理事長
理事	山田博嗣	愛知県稲作経営者会議 副会長
監事	天野義人	愛知県信用農業協同組合連合会 常勤監事
監事	安形昭彦	愛知県経済農業協同組合連合会 常勤監事

(3) 運営委員（5名）

平成29年3月31日

氏名	現職名
秋元浩一	名古屋学院大学 商学部教授
大石一史	東海地域生物系先端技術研究会 事務局長
仲井靖	愛知県農林水産部 農林政策課 主幹
金原節子	元 愛知県農業大学 副校長
堤英祐	生活協同組合コープあいち 商品活動推進統括部 部長

(4) 表彰審査委員（5名）

平成29年3月31日

氏名	現職名
加藤 勇二	愛知県農業協同組合中央会 常務理事
竹谷 裕之	国立大学法人名古屋大学 名誉教授
向井 忍	生活協同組合コープあいち 参与
百瀬 則子	ユニー株式会社執行役員 環境社会貢献部 部長
濱田 千裕	愛知県農業総合試験場 場長

(5) 職員（9名）

平成29年3月31日

職名	氏名	現職名
事務局 長	久田 永吉	愛知県経済農業協同組合連合会
業務課 長	佐藤 新	愛知県農業協同組合中央会
庶務	村瀬 春美	
農地集積推進部長	都築 敏也	愛知県農業協同組合中央会
農地第一課 長	森 義男	
農地第二課 長	早川 正吉	
農地第三課 長	佐合 克好	
農地第四課 長	石黒 弘	
農地第五課 長	寺島 千秋	

II. 事業の概要

愛知県農業の永続的な発展と魅力ある地域社会の形成をめざし、農業者の創意工夫を活かした取組等を積極的に支援、促進することにより、愛知県の農業・農村の振興に取り組んだ。なお、県民の農業への理解促進のため、独自に「よくわかる あいちの農業」を作成し、広く普及に努めた。

また、愛知県農業・農村の振興に尽力し、その功績が特に顕著で他の模範となるものを表彰し、農業者やその関係者の様々な活動を積極的に支援した。

さらに、高齢化などによりリタイアする農家の農地を地域の農業生産の担い手に集約することにより、農業経営の規模拡大と農用地の有効活用を促進し、農業の生産性向上に取り組んだ。

1. 助成事業

(1) 農業・農村調査研究事業

①愛知県経済農業協同組合連合会が実施した、農業生産力パワーアップに向けた産地の戦略策定に関する調査事業に対して652,000円を助成した。

(2) 新農業ビジネスモデル推進事業

①愛知県農業経営士協会が東海3県の農業士を集め実施した、事例発表・講演等の研修会に対し108,000円を助成した。

②あいち尾東農業協同組合が農業者向けに実施した、経営戦略の研修会に対して232,000円を助成した。

(3) 安全・良質農産物安定供給事業

①愛知県経済農業協同組合連合会営農支援センターが実施した、新品種、新技術の栽培展示（施設：15件、露地：1件）と関連情報の収集、農業器資材の適合性に関する調査、および情報誌「ASC」の発行（No.180、181、182）計8,600部に要した経費に対して17,685,000円を助成した。

②愛知県経済農業協同組合連合会が実施した、産地の維持・発展を目的としたマイナー作物等の農薬登録試験にかかる産地での栽培管理経費に対して1,219,000円を助成した。

③愛知県経済農業協同組合連合会苗生産センターが実施した、LED活用によるトマト接木苗の徒長防止効果技術の実証経費に対して333,000円を助成した。

- ④愛知県経済農業協同組合連合会が実施した、県下と畜場の衛生度向上と消費者に対する安全性の担保を高めるための枝肉の抗生物質・細菌検査および美味しさを確認するための脂肪酸分析の経費に対して1,119,000円を助成した。
- ⑤愛知県経済農業協同組合連合会が実施した、米のトータル生産コスト低減対策に係る土壌診断・施肥改善について県下の水田面積29,332haにおける2,131点の土壌診断に対して531,000円を助成した
- ⑥愛知県農業生産振興業協会が実施した、「小菊の省力化・規模拡大・計画出荷による生産振興事業」「米の食味ランキング特A取得に向けた栽培実証事業」「いちじく雨よけ栽培の普及促進事業」「玉ネギ栽培の省力化・機械化実証事業」「水田におけるキャベツの生産振興実証事業」の5件に対して499,000円を助成した。

(4) 園芸優良種苗供給事業

- ①愛知県園芸振興基金協会が実施した、優良種苗（いちご、じねんじょ、ふき）の生産供給、生産指導の経費に対して9,000,000円を助成した。

(5) 農業理解促進事業

- ①名古屋コーチン協会が実施した、名古屋市内での各種イベントにおいてのぼり・ポスター・ステッカー等PR資材の作成・配布とともに、名古屋コーチンもりあげ隊（学生）によるPR活動に対して689,000円を助成した。
- ②愛知県経済農業協同組合連合会が首都圏量販店・県内産地と連携して実施した、愛知県産花きのパートナーズデイトプロモーション活動による消費拡大対策の取組に対し801,000円を助成した。
- ③愛知県経済農業協同組合連合会が関東地区で実施した、ベジフルティーチャーを活用した青果物（トマト、イチジク、大葉、フキ、次郎柿等）の食育・消費拡大活動に対して340,000円を助成した。
- ④愛知県経済農業協同組合連合会が実施した、一般消費者（親子）の田植え・稲刈り（6か所）等農作業体験や地産地消・食育の講義により愛知県産米の理解を促進するためのイベント「おコメ実らせ隊2016」の事業に対して1,323,000円を助成した。
- ⑤愛知県茶業連合会が実施した、「あいちのお茶」の品質の良さ、急須を使う習慣を動画で表現し、動画サイトでの紹介や各種イベントにおける茶育活動を行う取組に対し648,000円を助成した。
- ⑥愛知県茶業連合会が実施した、ドームやきものワールド2016に出展し、手もみ茶

実演・試飲および来訪者への説明による茶育・P R活動の取組に対して273,000円を助成した。

- ⑦あいち中央農業協同組合が実施した、全国の人参産地が集まり産地ブランドのP Rを行うイベントにおいて、消費者に碧南人参の良さをP Rして消費拡大を図る取組に対し500,000円を助成した。
- ⑧愛知県農業協同組合中央会が学校教育の中で愛知県農業に対する理解を深めるために県内の全小学5年生を対象とした農業教育用資料「愛知の農業」をわかりやすく編集し、80,000部を配布した。また、この教材の有効活用のための教師用指導書4,000部を作成し、併せて全小学校に配布した。この事業2件に対して助成金3,800,000円を助成した。
- ⑨愛知県養鶏協会が実施した、卵とコレステロールの関連性や鶏卵の賞味期限等の正しい理解を促す小冊子を作成し、県下イベントで消費者に配布して県産鶏卵の消費拡大を図る取組に対し210,000円を助成した。
- ⑩海部苗木花卉生産組合連合会が実施した、あいち花フェスタ2016において花の装飾展示による海部の花のP R及び地域の小学校への花育教室の取組に対し900,000円を助成した。
- ⑪愛知県農業団体推進協議会が実施した、あいち花フェスタ2016において愛知県産花きの魅力を直接消費者に伝え、花や農業に親しむ取組に対し979,000円を助成した。
- ⑫愛知県経済農業協同組合連合会が実施した、「あいちの農畜産物ファン感謝祭」(パールライス安城工場で開催、一般消費者約5,000名来場：農畜産物の試食・販売、施設見学、食育活動等の実施による愛知県産農畜産物の総合フェア)における愛知県産農畜産物P R資材の制作費に対して235,000円を助成した。
- ⑬愛知県農業協同組合中央会が一般企業社員食堂において実施した、愛知県産農産物の料理レシピコンテストのチラシを配布しP Rする取組に対し46,000円を助成した。
- ⑭愛知県経済農業協同組合連合会がデンソー社員食堂において実施した、地元米を使った地産地消ポスター掲示によるP R活動に対し92,000円を助成した。

(6) 直売所の交流&感動拠点化プロジェクト推進事業

- ①尾張中央農業協同組合が実施した、ファーマーズマーケット「ぐらびひろば」を核とした消費者への情報発信機能強化と生産現場や農業体験により農業への理解促進を図る取組に対し581,000円を助成した。

(7) 助成事業における課題

平成28年度の交付申請件数は30件となり、前年度より14件減少した。

助成申請金額47,812,700円に対し、やむなく中止となったイベントもあり、助成実績金額は42,795,000円となった。(差5,017,700円)。

事業の進捗管理の徹底指導および申請書(計画数値・助成対象内容)の精査が必要である。

助成金の種類	申請件数 (件)	助成実績金額 (円)
農業・農村調査研究事業助成金	1	652,000
新農業ビジネスモデル推進事業助成金	2	340,000
安全・良質農産物安定供給事業助成金	10	21,386,000
園芸優良種苗供給事業助成金	1	9,000,000
農業理解促進事業助成金	15	10,836,000
直売所の交流&感動拠点化プロジェクト推進事業助成金	1	581,000
計	30	42,795,000

2. 功労者表彰事業

愛知県農業・農村の振興に尽力し、その功績が顕著で他の模範になるものを表彰することにより、後に続くものが自信と誇りをもってその振興に取り組むことを助長し、もって本県の農業・農村の発展に資することを目的として、昨年を引き続き、農業振興功労者表彰事業「愛知農業賞(あいちアグリアワード)」を実施した。

① 候補者の推薦

平成28年6月に県関係機関、市町村、農業団体等に推薦を依頼し、募集したところ、担い手育成部門について2名、技術改善部門について1社、農業・農村振興部門について1名の推薦があった。

② 選考

平成28年9月28日開催の審査委員会において慎重に審議され、推薦内容の詳細確認手続き等を経たうえで、担い手育成部門2名、技術改善部門1社、農業・農村振興部門1名の候補者を選考した。

③ 表彰

平成28年12月19日、JAあいちビルにおいて、農業者、関係者62

名の出席を得て表彰式を開催し、担い手育成部門の吉野隆子氏・夏目安勝氏、技術改善部門の鋤柄農機株式会社、農業・農村振興部門の鈴木明氏に対して理事長より表彰状並びに副賞を授与した。

表彰式終了後、受賞者各氏より受賞内容についての体験発表を行った。

3. 農地集積推進事業

(1) 農地中間管理事業

借受希望者は、979名（1月公募）で、昨年度より、248名増加。また、貸付実績については、目標1,100haに対し権利発生454.4haとなった。

① 周知活動の実施

- i 市町村・JA・公社担当者への事業説明会を開催し、マニュアル・Q&Aなどを説明し、本年度の事業推進上の情報を共有した。（4月）
- ii 28年度版事業推進のリーフレットを7万部作成し、関係機関に配布した。（6月）
- iii 出し手・受け手への説明会等に出席し事業の概要説明・質疑応答に対応した。（146回）
- iv 機構のHPで理事長のメッセージを発信している（24回）、また9月には中日新聞の朝刊（250万部発行）に広告を掲載した。

② 担い手との積極的な意見交換

- i 担い手との意見交換を開催（33回）、延べ675名の担い手が出席し、その結果を公表した。

③ トップセールスの実施

- i 市町村長との面談は、27回実施（累計）。現状把握や担い手との意見交換の必要性、周知活動への取組の強化等を要請した。
- ii 業務委託先であるJAの組合長、常勤役員への面談による、事業への協力を要請した。（10JA）

④ 推進体制の強化

- i JA・公社職員を対象にコーディネーター等研修会を開催した。（9月）
- ii コーディネーターの進捗状況等の報告を四半期に変更した。（9月）

- iii 担い手からの要請もあり、コーディネーターをHPで公表した。(10月)
- iv 現場での相談・情報収集等を担う農家代表者を現地相談員として設置し、岡崎市在家地区・島坂地区で各1名委嘱した。
- v 県域の農地集積・集約化推進会議が開催され、関係機関の情報共有が図られた。(7月、3月)
- vi 市町村からの県への事業報告が毎月に変更され、進捗管理を強化している。(9月から変更)

⑤ 地域における話し合いの強化

- i 適切な範囲での人・農地プランの作成・見直しを働きかけた。
- ii トップセールス等において土地利用現況図による現状把握を実施していくという発言があり、事業の必要性について理解を得た。

(2) 農業経営基盤強化促進法の特例事業

県有農地の売却を図るため、市役所・農業委員会への説明や協力依頼を行うとともに、草刈り等適正な管理を行った。